

会員 68 名中	47 名出席	出席率 69.12%
修正 54 名出席		出席率 79.41%
		メイクアップ 7 名

WEBSITE!

イマジン
ロータリー

例会場 クラークリアンテナサンパレス 福島市上町 4-30

開催日 毎週水曜日 12 時 30 分

会長 渡邊 正義

幹事 穴戸 隆司

福島南ロータリークラブ会長挨拶

渡邊 正義 会長



皆様こんにちは。先週の金曜日、県北第一分区の新旧会長幹事会があり、私と穴戸幹事、会長エレクト菅野良二さんと、次年度幹事の鈴木洋子さんが出席してまいりました。私にとっては最後の会議、会長エレクトにとりましては初めての出席となります。この 1 年間、箭内ガバナーエレクトには大変お世話になりました。

会長幹事会に出ることによって、視野がひろがり、他クラブの方々と知り合いになり、又他クラブの事が多少なりとも分かるようになりました。1 年間の付き合いでしたがいろいろな意味で成長させていただきました。

最初の仕事として各マスコミに挨拶に行ったことが昨日の様に思い出されました。ガバナー補佐を先頭にマスコミ周りをし、緊張したことを覚えています。

又、今年度のロータリー賞は南クラブとしましては 25 項目あるロータリー賞の内、21 項目でロータリー賞を頂きました。県北第一分区では、安達太良クラブについて 2 番目の成績です。現時点の集計では、ロータリー財団の寄付額のトップは福島クラブで、次いで福島中央クラブ、3 番目が南クラブでした。米山奨学金は、これも

トップが福島クラブです。2 番目が福島中央クラブで、南クラブは 3 番目でした。ポリオプラスの寄付金は、これも福島クラブがトップで、南クラブは 2 番目でした。これもひとえに会員皆様のおかげです。ありがとうございました。

会員増強の項目だけは残念ですが賞を逃しました。私が当初の目標を高く設定したための結果です。申し訳ございませんでした。

尚、因みに 2530 地区の会員数のトップは郡山クラブで 106 名、次いで福島クラブが 101 名、郡山南クラブが 88 名、いわき小名浜が 68 名で、福島南クラブは 67 名で第 5 位でした。一番増強したのは富岡クラブで、14 名増で 52 名。南クラブも今年度ラストに木村さんに入会いただき、又、来期早々に 3 名入会となりますので、久しぶりに 70 名の大台を超えそうですので楽しみです。

それから、来週、山水荘で移動例会が予定されておりますが、出席者が宿泊、日帰り併せて 29 名と半数以下に留まっておりますので、まだ回答いただいていない方は万障繰り合わせの上、ご参加いただくようお願いします。

これで会長挨拶を終わります。

新会員入会式

会員増強委員会 高橋 勇雄 委員長

新会員 木村 学さん (55 歳)
事業所・役職 福島ノーミ株式会社 代表取締役社長
職業分類 防災事業
推薦者 小坂 和也 会員
所属委員会 社会奉仕委員会



(新会員スピーチ)

この度、ご縁をいただきまして、入会することになりました。出身は新潟市でございます。仕事の関係で7年前に仙台の方に行きまして、仙台で3年、その後、福島に来て4年となります。やっと、ナビなしで福島を運転できるぐらいになりました。まだまだ、わからないところがたくさんありますので、ご縁がありましたら教えていただきたいと思います。今回、ロータリーに入りまして、諸先輩方からロータリーの精神と奉仕の精神を学んでいこうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

ベネファクター授与

ロータリー財団委員会 笠 雅樹 委員長

ロータリー財団功労者として、渡邊 正義 会員がベネファクターに表彰されました。



クラブ協議会

① クラブ管理運営委員会 菅野 良二 大委員長

親睦活動委員会、ロータリー情報教育委員会、スマイリングボックス委員会の3つの委員会で活動してまいりました。各委員長、委員の皆様には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

親睦活動委員会では、コロナ禍の中で夜間家族例会を3年ぶりに開催することができました。本当にありがとうございました。

ロータリー情報教育委員会では、ロータリーの友編集長 野崎恭子様 の講演など、本当にありがとうございました。

スマイリングボックス委員会では、毎回、例会でスマイリングボックスの集計及び発表を行っていただきました。スマイリングボックスは社会奉仕活動の原資となる重要な委員会でございます。ご協力本当にありがとうございました。



② 親睦活動委員会 河野 忠 小委員長

今年度の親睦活動委員会は、With コロナの時代として感染対策を取りながら、3回の家族例会、4回の夜間例会が予定されていましたが、前半の新会員歓迎会、納涼会は、感染拡大を受けて中止となりました。クリスマス忘年会については、家族を招待しない形で実施でき、徐々に親睦事業も行えるようになり、ついに4月には家族例会の観桜会が、参加されたご家族は少なかったですが、4年ぶりに開催できました。そして5月8日には、コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類と格下げとなったことから、テーブルの亚克力板が撤去され、お酌も自由となり、急遽開催が決定した福島中央ロータリークラブとの合同夜間例会と懇親会についてはコロナ前と同じ形で開催できました。

前半こそコロナウイルスに翻弄され、また、途中で恵利副委員長の転勤にも見舞われましたが、委員会メンバーの協力のおかげで、無事一年を終えることができるようです。感謝申し上げます。新旧合同委員会歓送迎会を残しておりますが、一年間ありがとうございました。



③ ローターリー情報教育委員会 廣澤 俊樹 小委員長

ロータリー情報教育委員会では、ロータリーの友に掲載の記事を題材に10分間の勉強会を開催するのに加えて、記憶に新しいでしょうけど、会員セミナー(9/14)では地区研修委員長の石黒さんと県北第一分区ガバナー補佐の箭内さん、ロータリーの友月間(10/19)にはロータリーの友の野崎編集長、青少年奉仕月間(5/24)では青少年奉仕委員長の大木さんをお招きしてスピーチいただきました。

ロータリー情報教育委員会の一年間の活動方針として、「全会員のロータリーの理解」を掲げておりましたので、少しは貢献できたのではないかと考えております。一年間どうもありがとうございました。



④ スマイリングボックス委員会 半澤 一成 小委員長

本年度は、宍戸清和会員、斎藤ミヨ会員、三浦善治会員、喜古勝弘会員と私の5名でローテーションを組んで活動いたしました。委員の皆様と前委員長の本田光男会員のご指導のおかげで、無事に1年間活動を継続することができました。ありがとうございました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響が未だに残っておりますので、目標額は定めないこととされました。しかし、委員の皆様から多大なるご協力をいただき、6月7日の例会時点で154万1877円のご寄付をいただきました。深く御礼申し上げます。

また、毎回、委員の皆様から温かいメッセージや、来訪者を歓迎するメッセージなど、まさに会場を笑顔にするメッセージを多数いただきました。1年間大変お世話になりました。



⑤ 公共イメージ・IT委員会 林 克重 大委員長

目標として以下の項目を掲げました

1. 各委員会は、毎月1回委員会ミーティングを行う。
2. 福島南 RC ウィークリーの発行。
3. 全会員の My rotary 登録と活用の促進。
4. HP, SNS, 報道依頼などクラブ情報発信を行う。

各委員会ミーティングはコロナ禍でもあり開催ができませんでした。次年度委員会の皆様よろしくお願ひします。ウィークリーの発行では、HPのリニューアルとともに SNS も連携し、各担当委員会の皆さんにしっかり対応いただきました。ありがとうございました。ただし、My rotary の活用推進については、会員がまだまだ My rotary 自体を理解いただいていないということもあり、次年度の課題なのかと思っております。

クラブの活動の活性化は委員会の活動に掛かっているということをご理解いただきまして、皆さまのご協力に感謝しつつ、更なるご協力をお願いしたいと考えております。

⑥ クラブ会報委員会 木村 昇 小委員長

今年度の基本方針として「公共イメージの向上」と「作成に手間が掛かるというイメージを払拭できるように、作業の効率化を図り全員参加型の会報作成」を掲げました。

公共イメージの向上についてはクラブ活動、社会奉仕活動、人道支援活動などを都度会報に掲載してきました。

会報作成の簡素化については、頂いた原稿の貼り付けを前提としましたが、原稿のない部分を載せなくてはならないとの責任感から、音源を聞いて文字を起こすなど、非常に手間がかかる方法を取ってしまいました。結果、会報は毎回5枚から8枚程度になり、読みやすい会報ではなく、例会の議事録のようなものにしてしまったことを反省しています。

今年度、会報作成に協力いただいた委員の皆様へ感謝を申し上げるとともに、次年度会報委員長のご活躍を期待しております。

⑦ クラブ広報委員会 吉田 和義 小委員長 (林 克重 大委員長 代読)

当初の活動目標は、ロータリーの活動情報やクラブの奉仕活動に関してマスコミ、SNS、ホームページを使って地域社会に広報し、公共イメージの向上を図ることとしました。

具体的にはクラブの奉仕活動を広報する為、福島民報・福島民友へ取材依頼し福島南ロータリークラブの社会奉仕活動を紹介する事が出来ました。

以下の様に取材依頼をし、福島民報・福島民友の紙面を飾る事が出来ました。

主な取材依頼

1. 福島成蹊高校奨学金授与
2. 大声杯リトルリーグ野球大会
3. 防火パレード
4. 「道の駅ふくしま」へのテント贈呈式
5. 杉妻小図書贈呈
6. 東京銀座「はなもも」植樹式典
7. セブロータリークラブ来訪、トルコ大使館への義援金贈呈
8. 福島駅古関裕而モニュメントロゴ張り替え式典
9. 福島愛育園園児を花の山招待
10. 第一分区チャリティーゴルフ大会、福島愛育園へ支援金贈呈式



⑧ IT委員会 齋藤 弘之 小委員長

今回 IT 委員会としての活動はほとんどできませんでしたが、以下の内容を次年度活動に繋げたいと考えております。

1. マイロータリー未登録の方を IT 委員会が代理で登録できる方法を検討し、全員登録を完了する。
2. マイロータリーの活用について、実際に活用している方に例会でその活用事例を話していただき、具体的な活用方法と利便性を実感していただく。
3. IT に弱い会員、ご高齢な会員のサポートを引き続き出来る限り対応する。

⑨ 奉仕プロジェクト委員会 黒羽 好夫 大委員長

今年度は 新型コロナの感染状況も 徐々に改善されまして、奉仕プロジェクト委員会の 職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の 4 つ委員会では 初期の計画通りの奉仕活動をする事がほぼできました。

活動を計画し、実行していただいた各委員会の委員長をはじめ委員の皆様にご感謝申し上げます。

又、会員の皆様には 委員会の奉仕活動に積極的な参加とご協力をいただきまして誠にありがとうございました。



⑩ 職業奉仕委員会 菊地 和宏 小委員長

『職業奉仕は、全てのロータリアンが倫理と高潔さを持って仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てる事』と言われており、これらの事を念頭に一年間活動してまいりました。

本年度活動報告

1. 例会時、四つのテストの唱和を委員持ち回りで担当
コロナ禍中はマスク、唱和無し、本年 5/8 以後は序々に変更。
2. 会員スピーチの準備（スピーチ依頼、順番、段取り等）
スピーチ頂きました皆様、ご協力ありがとうございました。
3. 移動例会（東北電力：コロナ禍中のため中止、
永京寺・風の谷：計画実行）
4. 5/24：ゲストスピーカースピーチ

地区職業奉仕委員会 委員長 大木和彦様

年間を通して会長、幹事をはじめ、SAA の皆さんに例会ではご協力頂き、一年間の活動を無事終えることが出来ました。委員会の皆様、会員の皆様にご感謝申し上げます。



⑪ 社会奉仕委員会 小坂 和也 小委員長

（増子 芳教 委員 代読）

今年度、社会奉仕委員会では、奉仕するだけでなく、会員全員が楽しく参加でき、参加者同士がコミュニケーションを取れる「学びの場」を提供し、やりがいのある奉仕活動を心掛けていきたいと考えて、行動してまいりました。

コロナ禍も 3 年目となり、中止となっていた諸行事も感染予防対策をしながら実施可能となり、大変うれしく思います。



大声杯は、子供たちのハッスルプレーやチーム全員での大きな声援、そして、RC 会員も幼少期に戻ったかのように負けじと声援するなど、大変盛り上がり、どのチームに大声杯を進呈するか迷うほど感動しました。

また、花野山児童支援では、社会奉仕委員と斎藤ミヨ南 RC パスト会長を中心に女性会員の力をお借りしながら、何度もメニュー構成をし、子供たちはもちろん RC 会員同士の交流もできて、楽しい 1 日を過ごすことができました。何よりも子供たちの明るく元気な姿を見ることができたことが、一番の収穫だと思っております。

これもひとえに会員皆さまのご協力のおかげと感謝申し上げます。

年間活動報告（実施日、会員参加人数）

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 1. 大声杯支援（10/29 12 名、10/30 15 名） | 2. 猪苗代湖水草清掃（10/23 19 名） |
| 3. 防火パレード（11/9 17 名） | 4. 道の駅ふくしま防災テント贈呈（11/8 11 名） |
| 5. 杉妻小図書贈呈（1/12 3 名） | 6. 銀座の植樹（2/10 3 名）、 |
| 7. 花野山児童支援（4/9 21 名） | |

⑫ 国際奉仕委員会 安齋 常克 小委員長

コロナウイルス感染防止対策の状況で、活動を制限される環境の中、3つの項目を活動目標に掲げました。

1. 国際文化交流活動

国際大会（オーストラリア メルボルン、2023. 5. 27～31）への参加の案内と参加促進をする活動。結果として、会員の皆様の 安全衛生を守るために、コロナウイルス感染を防ぐために、12月の時点で会員の皆様の意向を確認し、不参加の決断をいたしました。

2. ロータリー財団委員会 活動支援

グローバル補助金の認定許可確認後、共同活動を依頼しているフィリピンのセブロータリークラブへのメイクアップ参加の案内と参加促進をする活動。結果として、2022-23 年度内のグローバル補助金の認定許可は確認できませんでしたが、フィリピンのセブロータリークラブより渡邊正義会長に、創立 100 年記念式典への招待状を頂き、渡邊正義会長からの委嘱で、クラブを代表して3名の会員（菅野良二会員、林克重会員、笠雅樹会員）が昨年 11 月に 3 泊 4 日の日程で出席いただきました。

その後、創立 100 周年記念式典への参加の御礼に、フィリピンのセブロータリークラブより福島南ロータリークラブに来福したいとのお話を賜りましたので、渡邊正義会長から、4 月 2 日に開催した福島南ロータリークラブ創立 52 周年記念例会への招待状をセブロータリークラブへお送りし、フィリピンより会員家族 13 名の方々に、来福を頂きました。次年度、グローバル補助金認定許可後の事業等、今後の国際交流を語り合い、親睦を深めることが出来ました。

3. 海外の災害への支援活動

2 月 6 日にトルコ南部のシリア国境近くで発生した地震（マグニチュード 7.8）で、トルコとシリアで、5 万 600 人を超える死者が出る未曾有の大災害となりました。東日本大震災の当時、2530 地区ガバナー事務所（パストガバナー大橋廣治）へ、トルコより義援金約 50 万円を頂いた経緯や日本国とトルコ国との交流・歴史を勘案し、東日本大震災後に福島南ロータリークラブが積み立てていた支援金を今、トルコ国へ義援金として支出するべきであるとの判断により、創立 52 周年記念例会にて渡邊正義会長が「200 万円の義援金をトルコ大使館へ託し杉妻小学校児童と福島成蹊高等学校生徒の応援メッセージを添えて未曾有の大災害に遭遇したトルコの国民の方々に、海外の災害への支援活動をする事」を発表致しました。



2022-23年度も新型コロナウイルス感染防止対策のため活動を制限された年度でした。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。活動報告とさせていただきます。

⑬ 青少年奉仕委員会 伊藤 弘子 小委員長

青少年が、指導力要請活動や社会奉仕・国際奉仕・そして、世界平和と異文化を理解するプログラムへの参加で、資質を高め、将来のロータリアンとなるよう、育成を促して参りました。

IAC 提唱クラブとして、全会員の意識の向上と、青少年奉仕活動について理解を深めてもらうため、積極的に IAC 例会・奉仕活動への参加を呼びかけました。

7月から翌年の6月まで8回のインターアクトクラブ例会の開催を予定しておりましたが、第8回(6月7日)はコロナ蔓延傾向のため中止となりました。

ロータリーの定義を知ってもらうために、インターアクトクラブ例会においてロータリアンのスピーチを多く取り入れました。ウエディングスタイルレッスンでは、50名を超える参加で、大変盛り上がりました。当クラブ内の共同奉仕活動としては、ごみスポや猪苗代水草除去清掃等も、インターアクトとともに、活動いたしました。

参加頂きました多くの会員の皆様ありがとうございました。

福島成蹊高校 IAC への取り組み

◎ 福島成蹊高校 IAC の例会開催

- ・ 7月13日 林克重パスト会長 講話
- ・ 8月31日 大野順道パスト会長 講話
- ・ 9月21日 ウエディングスタイルレッスン
- ・ 10月19日 菅原美智子様スピーチ
- ・ 11月16日 鈴木光一パスト会長 講話
- ・ 12月7日 横山りつ子パスト会長 講話
- ・ 1月25日 3年生 奉仕表彰
- ・ 6月7日 コロナ蔓延のため中止

◎ 福島成蹊高校奨学金授与(年度内2回)

- ・ 10月26日(奨学金授与者、RC例会にて『私の夢』発表)
- ・ 1月18日



幹事報告 「6月の行事」 宍戸 隆司 幹事

(1) 福島南RC関係について

- ・ 6月21日(水) 次回夜例会：新旧委員会歓送迎会(山水荘で開催)
現在、29名のエントリーになっており、1名でも多くの例会参加をお願いしたい。
- ・ 各委員会への依頼：次期委員会との引継書を万全に。

(2) 地区・分区行事について

- ・ 6月18日(日) 麻薬撲滅キャンペーン(二本松RCと二本松あだたらRC主催)